

不老会の集い

いよいよ間近になりました。
 ご参加の皆様（申込をされた方）
 当日は「不老会の集い参加票」を忘れずに
 お持ちくださいね！



編集発行
 公益財団法人 不老会
 〒460-0008
 名古屋市中区栄
 2丁目10-19
 名古屋商工会議所内
 9:00~12:00 13:00~17:00
 土日祝休
 電話 (052)203-4580
 FAX (052)253-7123
 ホームページ
<http://furo-kai.or.jp>



とき 令和7年10月23日(木)

今回新しく
不老会が
制作しました

開 場 12:00
 12:10より新献体DVD上映
 開 会 12:40 (終了予定 15:30)



ところ 岡谷鋼機名古屋公会堂 大ホール

※会場内では飲食はできません。



記念講演

「なぜ免疫はそこを攻撃しないのか？
 ~体の中に“特別な場所”の秘密~」

愛知医科大学医学部
 解剖学講座 教授 内藤 宗和 先生

学生体験発表 愛知医科大学医学部 学生

アトラクション 『森 秀樹 with パンティーズ』
 昭和歌謡をみんなで歌おう~♪

※ 駐車場台数に限りがございますので、公共交通機関をご利用ください。

医学のおはなし

不老协会会员のみなさま、こんにちは。この原稿が皆さまのお手元に届く頃、わたしは医学部二年生を対象に組織学の実習を担当しています。ヒトを構成するのは、皮膚、眼球、胃、脳などの様々な器官です。組織実習では、これらの器官を薄くスライスして作った組織標本を観察しながら、人体のつくりを学んでいきます。顕微鏡で標本をのぞくと、そこには、多種多様な細胞がみえてきます。遺伝情報であるDNAが大切にしまわれている核も、個々の細胞の中に入れてきます。

ヒトの体は三十七兆個もの細胞できています。細胞の寿命は様々であり、たった数日しか生きられないものもあれば、数年〜数十年にわたって、私たちとともに生きる細胞もあります。寿命の長さに関わらず、細胞には役割があり、組織を維持して

います。分裂して増殖する細胞、まわりの成長を促す細胞。細胞の気持ちはわかりませんが、私たちと同じで穏やかに過ごしたいと思っているのかもしれない。ただ、細胞の生活も山あり谷ありです。紫外線、喫煙、アルコール、過剰な栄養、そして物理的な損傷など、身体細胞たちは様々な刺激にさら

細胞の変化がもたらすもの

名古屋大学大学院医学系研究科
機能組織学(解剖学第二)

特任講師 永田健一

されながら生きています。このような刺激は、時に、細胞のDNAに傷を与えます。そして、遺伝情報の傷は、年齢を重ねるにつれて少しずつ蓄積していきま

血液を例にお話させてください。健康診断でもおなじみの血液は、実にその半分くらいが細胞です。血液細胞は、種類に

よっても違いますが、数億個とか、数兆個も存在します。そのため、そのうちの一つの細胞のDNAに傷が入っても大したことではありません。ただ、血液細胞のもとになる造血幹細胞に傷が入ると話は別です。特定の傷をもつ造血幹細胞は、自分と同じ遺伝情報をもつ細胞(クローン)を分裂増殖によってど

んどん増やします。そうすると、本来とは少し違ったDNAをもつクローンの集団が体の中で優位が増えていくことがあります。このようなクローン性造血が生じていると、心臓や肺、肝臓、骨などの様々な病気になりやすくなることがわかっています。造血幹細胞から生まれたクローンは、様々な器官に入り込み、炎症性物質を出すなどの悪さをします。クローン性造血は若者にはみられません。高齢者の十人に一人が該当します。

ただ、最近になって、クローン性造血を有する高齢者はアルツハイマー病になりにくくなるということが報告されました。なぜ脳の病気のリスクだけは下がるのでしょうか？まだ誰も答えを知らません。二〇二三年の報告からまだ二年しか経っておらず、さらなる検証が必要です。しかし、年とともに増えてくる傷ついた細胞が、実は、認知症をふせいでいる、というストーリーにロマンを感じるのは私だけでしょうか。仕組みを理解できれば、新しい薬の誕生につながることでしょう。

大府・東浦地区会員の集い

六月二十四日(火) 大府市役所地下多目的ホールで開催しました。

アトラクションで、大府マジッククラブによるマジックショーを披露いただき大盛況でした。

出席者三十五名 (代表 大橋高秋)



オー マジック!

豊田・みよし地区の集い

六月二十七日(金) 豊田産業文化センター四階会議室で開催しました。

出席者からの質問に、本部浅井常務理事に回答をいただき、その後、懇談会食をはさみ、ブルーハワイアンの演奏とダンスを楽しみました。

出席者四十名 (代表 小林 収)



ブルーハワイアズ



代表 小林収



名東区地区の集い

七月二十三日(水) 名東区北部いきいき支援センターで開催しました。

「特殊詐欺など身近な犯罪について」名東警察署生活安全課 野倉しおり様より防犯カルタをつかった講演していただき、アトラクションは「二胡グループ桂花」の演奏を楽しみ散会しました。

出席者四十名 (代表 樋口日出子)



防犯カルタ



野倉しおり様の講演

献体・献眼についての「Q&A」

3 献眼について

Q9 不老会会員は必ず献眼することになっているのですか？

A9 全ての不老会会員は、自らの体を臨床医学の教育と研究のため「献体」するとともに、自らの角膜を眼の不自由な方のため、「献眼」することを約束して入会していただいております。
また、会員のご家族におかれましてもこのことにご同意していただいた後に、入会していただいております。臓器移植法の定めるところにより、お亡くなりになられた時にはもう一度ご家族の意思を確認をさせていただきますが、会員が生前にたてられた崇高なご遺志を成就していただくため、ご同意いただきますようお願いいたします。

Q10 献眼のための作業はどこで行われるのですか？

A10 ご遺体が安置されている「病院」「ご自宅」「葬儀会館」等まで眼球の摘出手術のため眼科医が名古屋から出向き行くことになりますので、ご家族には、概ね2～3時間の間待機していただく必要があります。お忙しい中恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

4 献体後

Q11 一周忌、三回忌には遺骨を返していただけますか？

A11 会員には入会時に説明し、ご了解をいただいておりますが、ご返骨は、長い場合ですと3年近くかかってしまう場合があります。
そういった場合は寺院等に相談していただくと、手元にご遺骨がないまま、法要を営んでいただくことが可能ですし、中には返骨された後に、まとめて営まれるご家族もいらっしゃいます。

Q12 不老会でご遺骨を処分してくれますか？

A12 入会時に、ご遺骨をご家族の元にお返しすることを承知していただいております。基本的には返骨させていただきます。(返骨の方法は登録大学によって異なりますので、詳しくは登録大学にお伺いください。)
ただし、ご不幸にも返骨を受けるべきご家族が先立たれてしまった場合等、やむを得ぬ事情がある場合などは、登録大学にご相談ください。

Q13 遺骨を「献体の塔」に納めていただくことはできますか？

A13 「献体の塔」は、お墓や納骨堂ではありません。成願された会員のお名前を刻んだ「御名札（ネームプレート）」を納める施設となっており、お骨を納めることはできません。

Q14 献体後は、遺族と不老会の関係はどうなりますか？

A14 毎年度、4月1日から翌年の3月31日までに成願された、会員の「御名札（ネームプレート）」を献体の塔にお納めする「御名札納め式」にご遺族をお招きすることが、最後のご案内となります。

参考：ご用意していただく書類等

○ 書類

- ・死亡診断書 …… 病院で受け取る 1通（コピーを2部取る）
 - ・原本を役所に提出後、火葬許可書を受け取る。
 - ・コピー1部を葬儀社経由で登録大学に渡す。
 - ・コピー1部を眼科医に渡す。
- ・火葬許可書 …… 役所に死亡診断書を提出後に受け取り、遺体の引き取りに間に合えば葬儀社経由で登録大学に渡す。間に合わない場合は、後日登録大学に郵送する。
- ・解剖承諾書 …… 登録大学から、郵送又は手渡しされます。ご記入後は、登録大学に郵送する。

ご家族の皆さんへ

1 会員がお亡くなりになった時

Q1 会員が亡くなった時には、まず何をすれば良いですか？

A1 まずは、登録大学又は大学の取次代行の葬儀社へ電話をしてください。(最終8ページの一覧表のとおり)そして、これから先、献体に向けて何をすれば良いのかをご相談ください。

Q2 登録大学がわからないときはどうしたら良いですか？

A2 今は出来ておりませんが、最終ページの一覧表に記載する全ての大学や葬儀社において、登録大学をお調べすることができます。運用は11月からとなります。電話を掛けていただき、会員の氏名と生年月日をお伝えください。

Q3 最初に連絡する電話では、何を伝えれば良いですか？

A3 お亡くなりになられた会員の会員番号や氏名等、死亡日時、死因、感染症の有無に併せ、連絡者のお名前、続柄、電話番号もお伝えください。
また、既に決まっている場合は、通夜・告別式の日時や場所、告別式等を実施されない場合には、ご遺体の安置場所をお伝えください。(決まっていない場合は、後ほどでも結構です。)

2 通夜・葬儀について

Q4 通夜や告別式を実施することはできますか？

A4 通常通り実施していただくことができますので、ご家族、ご親戚とご相談のうえお決めください。

Q5 通夜や告別式にかかる経費は誰の負担となりますか？

A5 全てご遺族の負担となりますが、最終的にご遺体を大学に搬送する霊柩車は大学で用意します。(病院からご自宅・葬儀会場への搬送はご遺族の負担でご用意ください。)

Q6 大学の取次代行の葬儀社以外の葬儀社で通夜や告別式を営むことはできますか？

A6 お好きな葬儀社を選択していただいて結構です。ただし、ご遺体を大学に搬送する葬儀社は大学が契約する葬儀社となります。

Q7 告別式等を実施しないことはできますか？

A7 可能ですが、大学が契約する葬儀社がご遺体をお迎えにあがるまでの間、ご遺体を安置していただく場所を確保していただく必要があります。

Q8 ご遺体との最後のお別れはどこになりますか？

A8 いずれの場合も「出棺」が最後のお別れとなります。
(出棺後は火葬場ではなく、登録大学に搬送することになります。)

